

カリキュラムマップ(新)(平成30年度以降入学生対象)													
ディプロマ・ポリシー	備考・分科の観点	1年次		2年次		3年次		4年次		5年次		6年次	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
1.薬剤師としての使命 薬剤師に求められる社会的責任を自覚すると共に、医療人としての倫理観を持ち、薬剤師の義務および法を遵守し、人々の生命・健康・安全を守る使命感を持って行動できる。	倫理(教養科目含む) 法規(教養科目含む) 臨床準備教育 病院・薬局実習	薬学概論 医療倫理 社会保障制度 <small>生命倫理(生命の大切さ) 倫理と思想史</small>			臨床心理学			薬事関連法規 模擬薬局実習		薬物副作用論 安全管理 病院実務実習 薬局実務実習			薬学総合演習A
2.コミュニケーション能力 円滑な人間関係を構築し、的確な情報の伝達および収集ができるコミュニケーション能力を有する。	語学 すべてのPBL含む 総合演習	早期臨床体験 コミュニティファ コミュニケーション 英語入門Ⅰ 英語入門Ⅱ ドイツ語 スペイン語 中国語 韓国語		実用薬学英語Ⅰ 実用薬学英語Ⅱ		臨床心理学		対人コミュニケーション 医療現場でのコミュニケーション 模擬薬局実習					外国人患者とのコミュニケーション 処方解析統合演習(PBL) 症例検討統合演習(PBL) 薬学総合演習A
3. チーム医療 医療に携わる多職種との役割を理解・尊重し、薬剤師の専門性を生かし、患者にとっての最善の結果を実現するよう、患者にとっての最善の結果を実現するよう、患者にとっての最善の結果を実現する能力を有する。	臨床準備教育 病院・薬局実習	早期臨床体験 薬学概論						実務実習事前特)セルフメディケーション論 調剤学 処方解析学 薬剤管理指導学 薬局経営論 医療現場でのコミュニケーション 模擬薬局実習		病院実務実習 薬局実務実習			薬学総合演習A
4. 基礎的な科学力 医薬品・化学物質等の特性を理解し、生態および環境に対する影響を理解するために必要となる基礎的な知識と科学的思考を有する。	基礎薬学、 物理系 実習を含む 化学系 実習を含む 生物系 実習を含む PBL 応用演習1、3 総合演習	基礎薬学 基礎物理学 基礎化学 有機化学Ⅰ 実感する化学 基礎生物学 身体の科学Ⅰ 身体の科学Ⅱ	基礎数学 基礎物理学 有機化学Ⅰ 有機化学Ⅱ 生化学 生理学 生化学Ⅰ 生化学Ⅱ 微生物学	物理化学Ⅰ 分析化学Ⅰ 無機化学 有機化学Ⅱ 生化学 生理学 生化学Ⅰ 生化学Ⅱ 分子生物学Ⅰ 分子生物学Ⅱ 衛生薬学実習 薬学基礎演習	物理化学Ⅱ 分析化学Ⅱ 放射化学 有機化学Ⅲ 生化学 生理学実習 生化学Ⅱ 分子生物学Ⅱ 分子生物学Ⅱ 衛生薬学実習 薬学基礎演習(PBL) 薬学基礎演習	物理化学実習 機器分析 分析化学実習 有機化学実習 医薬品製造学 生化学実習 天然物化学 生化学実習 分子生物学Ⅰ 分子生物学Ⅱ 衛生薬学実習 薬学基礎演習(PBL) 薬学基礎演習	分析化学実習 医薬品製造学 生化学実習 天然物化学 漢方処方学 免疫学 分子生物学実習 医療遺伝学 薬学応用演習Ⅰ 薬学応用演習Ⅲ						病原微生物 薬学総合演習A 薬学総合演習B
5.薬物療法における実践能力 患者の病態に基づいた薬物療法を、科学的根拠を考慮したうえで総合的に評価し、適切な薬剤・用量・用法・剤形を処方する能力を有する。	薬理 病態 臨床生化学 薬物動態 薬剤 調剤 応用演習2、3 総合演習	健康科学Ⅰ 健康科学Ⅱ		疾患薬理学Ⅰ 健康社会科学 疾患薬理学Ⅱ 疾患薬理学Ⅲ 病態・薬物治療Ⅰ 臨床生化学 病態薬理学実習 生物薬剤学 薬剤学 製剤学 日本薬局方	疾患薬理学Ⅱ 疾患薬理学Ⅲ 病態・薬物治療Ⅱ 臨床生化学 病態薬理学実習 生物薬剤学 薬剤学 製剤学 日本薬局方	疾患薬理学Ⅲ 病態・薬物治療Ⅲ 臨床生化学 病態薬理学実習 生物薬剤学 薬剤学実習 調剤学 処方解析学 薬剤管理指導学 薬局経営論 漢方処方学 医薬品情報学 薬剤設計学 薬理系統合演習(PBL) 医療薬学系統合演習(PBL) 薬剤系統合演習(PBL) 薬学応用演習Ⅱ 薬学応用演習Ⅲ 模擬薬局実習		臨床試験管理学 臨床医学各論 診断治療学 薬物動態学 薬物動態学実習 薬剤学実習 調剤学 処方解析学 薬剤管理指導学 薬局経営論 漢方処方学 医薬品情報学 薬剤設計学 薬理系統合演習(PBL) 医療薬学系統合演習(PBL) 薬剤系統合演習(PBL) 薬学応用演習Ⅱ 薬学応用演習Ⅲ 模擬薬局実習		病院実務実習 薬局実務実習			病原微生物 処方解析統合演習(PBL) 症例検討統合演習(PBL) 薬学総合演習A 薬学総合演習B
6.地域の保健・医療への貢献 地域の保健医療の担い手の一員として、プライマリケア、セルフマネジメント等を通じ、人々の健康増進、公衆衛生の向上に貢献する能力を有する。	衛生薬学系 応用演習2、3 総合演習	早期臨床体験 コミュニティファーマシー論 科学の原理 一般用医薬品論入門		衛生薬学Ⅰ 生物統計学	衛生薬学Ⅱ 衛生薬学Ⅲ 衛生薬学実習 医療経済学			セルフメディケーション論 模擬薬局実習		病院実務実習 薬局実務実習			薬剤学 機能性食品学 薬学総合演習A 薬学総合演習B
7.研究への取り組み 薬剤師として個々の業務を遂行する中で、多岐的な視点から様々な問題や課題を鑑別し、その解決のための研究を遂行する意欲と解決能力を有する。	すべてのPBL 実験等含む実習 卒業研究			生理学的実習	物理・化学系統合演習(PBL) 生理学的実習	生物・衛生・生薬 薬理系統合演習(PBL) 医療薬学系統合演習(PBL) 薬剤系統合演習(PBL)							蛋白質構造復元学 ゲノム創薬学 再生医学 科学英語の書き方 新薬論 先導薬物療法論 処方解析統合演習(PBL) 症例検討統合演習(PBL)
8.自己研鑽と教育能力 薬剤師として社会から求められる要求に応えるために、医療と医薬品の進歩に関する情報や社会的動向を把握し、生涯にわたり自己研鑽を続けると共に、次世代を担う人材を育成する意欲と態度を有する。	教養 社会科学 医薬品情報学	アジアの歴史 文化人類学 現代に生きる哲学 世界の文学 経済学入門 法と社会 経営学入門 経済社会の発展 環境と生物 サルからヒトへ 情報処理基礎演習 情報処理概論 スポーツ文化実習Ⅰ スポーツ文化実習Ⅱ アウトドアスポーツ実習Ⅰ アウトドアスポーツ実習Ⅱ 総合教養講座						医薬品情報学 薬局経営論 医療現場でのコミュニケーション ストレス学					新薬論 先導薬物療法論 薬学総合演習A 薬学総合演習B 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ

緑字	統合演習 (PBL)
青字	実験実習
緑字	選択科目
緑字	全学共通必修科目
緑字	全学共通選択科目